



未来の ハローワーク

教育長 津野庄一郎

「同じ目線になって話すことの大切さを知りました。」と活動を終えた渡辺伊知子さん（中3）は感想を聞かせてくれました。村の高齢者生活福祉センター「ゆうあい」におじいちゃんが通っていて、担当の方の説明をお聴きして納得したとのこと。新たな気付きを得て、日常の生活に活かしたいという優しさに接し、嬉しく思いました。

7月2日に村民会館アリーナで開催された「未来のハローワーク」は今年で5回目。参加者は総勢約200人あまり。会場は暑さも重なり、熱気に包まれました。今回は関川農事株式会社（深沢）の赤塚友美様あかつかともみのご講演と、村内の10事業所（新規に4つ）の方々からのプレゼンや模擬体験、ワーク等がありました。赤塚様からは、友人と一緒にトマト栽培に挑む苦労や喜びを、各事業所の方からは、起業のいきさつや仕事の概要、働くことの意義などを、様々な角度からお話いただき、子どもたちも興味津々です。ありがとうございました。

文豪島崎藤村しまざきとうそんの言葉に「人の世に三智がある。学んで得る智（本を読んだり、話を聞いたり、講義を受けたりすることで得られる知識や理解のこと）人と交わって得る智（他者との交流を通じて、様々な価値観や考え方に触れ、新たな視点や気付きを得ること）自らの体験によって得る智（実際に経験をすることで、机上の空論ではない、本質的な理解や知識を得ること）がそれである」と言うのがあります。

この言葉は、今学校教育で求められている「主体的・対話的で深い学び」に通じるものがあり、関川小・中学校の先生方が各教科・領域の活動を組織する際のポイントと言えます。関川の子どもたちには、よき人と出会い、心に火を灯し、学び続ける大人になってほしいと強く願います。